



# 海の子

浜松市立舞阪小学校  
学校だより  
令和4年12月22日



## 2学期を終えるにあたり～終業式の話から～

教頭 高須 祥郎

残暑厳しい9月1日から始まった2学期もついに最終日を迎えました。登校日数76日の中には、各教科の授業や友達と過ごした休み時間、おいしい給食といった毎日行われた内容はもちろん、校外学習や宿泊行事、舞小フェスティバル、さらには陸上部の大会といったプラスアルファの活動がありました。皆さんの思い出に残っているのはどのような場面でしょうか。

私自身も、5年生との林間学校や6年生との修学旅行、3年生との湖上見学などたくさんの思い出ができました。また、昨年度は職員室のパソコン越しに見ていた舞小フェスティバルも、今回は体育館で迫力を感じながら見ることができ、舞小生のもつエネルギーや表現力に改めて感動しました。充実した2学期となったことについて、学校にかかわる皆さんに感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

ただ、実は最も喜び、感動していたものは別にあります。それは、12月7日、9日に行われたイベント「校内宝探し」です。違う学年の人たちでグループを作り、協力しながら校内を巡ったあの活動が、個人的には最高であったととらえています。

理由を想像できますか。それは、企画委員会の人たちが、みんなの楽しみを求めて、新しく考え出したイベントであったからです。去年までやっていたことだから、とりあえず今年もやろう...などというのではなく、自分たちで新しい活動を創り出したことに価値があります。それも全校を巻き込んで。その後に行われた代表委員会では、「グループ内で楽しく会話できた」「違う学年とたくさん交流できた」「グループのみんなで助け合うことができた」「自分より小さな子たちを支えることができた」などの感想が聞かれ、今回のイベントをみんなで楽しめたことがわかりました。



今、小学生である皆さんが大人になったとき、「課題意識をもって、何かを生み出す力」や「他者と進んで協力する力」が求められます。まさに「やってみよう」「かかろう」の力です。今回の企画からは、舞小生がそうした力をもって成長できているということを実感できました。ここに価値があったわけです。

さて、明日からは14日間の冬休みです。地球が1つ年を取る年末年始の時間を大いに楽しみ、リフレッシュして学校に戻って来てください。事故無し、非行無しは全員での約束です。どうぞよい年をお迎えください。

最後になりますが、保護者・地域の皆さんには、2学期間多くの御支援をいただきました。新たな年も多くの関わりの中で舞阪の子供たちが育っていけるよう学校への御支援・御協力をお願い申し上げます。

## お知らせ(後期教育活動アンケートのお礼) 🇳🇵 🌟 🧦 🌟 🍷 🌟

先日は、アンケートへ御協力をいただきありがとうございました。今年度は、感染症対策を講じつつ、「実施できる方法を見つける」ということを重視して教育活動を進めてまいりました。皆様からいただきました貴重な御意見や御提案は、全職員で共有し、これからの教育計画に生かしていきます。結果の概要を、ホームページにも掲載しますので、御覧ください。

学校では、引き続き社会情勢を注視して子供たちの安全を確保しながら、教育活動の質の向上に努めてまいります。今後も、保護者の皆様、地域の皆様とともに、舞阪の未来を担う子供たちを支援していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。